

中東 三聖 氏の学位審査結果の要旨

主査：中邨 智之

副査：湊 直樹、松田 公志

心筋梗塞や脳血管疾患などの動脈硬化性疾患は腎不全患者の予後に大きく影響する。本研究では、附属病院にて腹膜透析を導入した患者 46 人の透析初期において二つの動脈硬化指標、脈波伝播速度 (baPWV) と頸動脈内膜肥厚 (cIMT) に寄与する要因を調べた。一時点における横断的検討では、重回帰分析にて baPWV とは年齢、尿蛋白質、収縮期血圧、HbA1c が、cIMT とは Brinkman index (1 日タバコ本数×喫煙年数) と低アルブミン血症がそれぞれ独立した因子として相関すること明らかとなった。baPWV と cIMT は互いに相関せず、独立した指標であると考えられた。次に腹膜透析開始から 2 年間の経時的観察を行ったところ、baPWV の変化は血圧の変化とは相関するものの HbA1c の変化とは相関しなかった。本研究は、腹膜透析導入から動脈硬化指標に影響する因子を経時的に調べた最初の研究であり、学位に値する。